

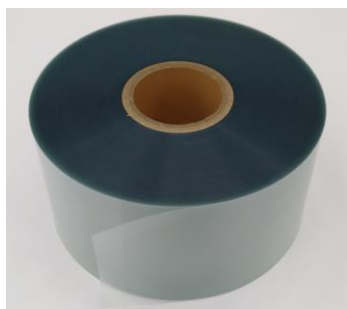
2023年4月11日

各位

双日プラネット株式会社
株式会社サンエー化研

バイオマスポリエチレンを配合したポリ塩化ビニルベースで
世界初の医薬錠剤包装用 PTP シートを販売開始
～バイオマス由来プラスチックを使用し従来比 20%以上の CO₂ 排出を削減～

双日プラネット株式会社（本社 東京、社長 有賀謙一）と株式会社サンエー化研（本社 東京、社長 櫻田武志）は、世界で初めて医薬錠剤包装用のポリ塩化ビニル（以下、PVC）ベース PTP（Press Through Pack）シートにバイオマス（サトウキビ廃糖蜜）由来のポリエチレン（以下、PE）を配合した「Medi Green®」（以下、本製品）の販売を開始しました。本製品は、サトウキビが生育段階で CO₂ を吸収し従来の化石資源由来 PVC ベースの PTP シートと比較して、20%以上の CO₂ 削減を期待できます（※1）。



本製品



成型後の PTP シートイメージ

日本では経済産業省が 2050 年のカーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略を掲げ、化石資源由来プラスチックの使用を減らしバイオマス由来プラスチックへの代替を推進しています。医薬品業界では、医薬品包装資材である PTP シートに年間約 14 千トン（※2）のプラスチックが使用されており、CO₂ 削減のため、バイオマス由来プラスチックへの代替が課題となっています。

本製品は、PTP シートの原料のうち最も使用されている PVC ベースに世界で初めてバイオマス PE を配合したものです（※2）。従来通りの高い成型性・生産性を維持しつつ、環境にも配慮した画期的な製品です。

配合するバイオマス PE は、双日株式会社が株主であり、双日プラネットがアジア市場で販売代理店を務める南米最大の化学メーカー・ブラスケム社（本社:ブラジル）が、世界で唯一製造するものです。

本製品の普及により、医薬品包装資材分野で化石資源由来プラスチックからバイオマス由来プラスチックへの代替を促進し、製薬会社の CO₂ 削減に貢献します。

【各社の役割】

■双日プラネット

合成樹脂専門商社としてバイオマスプラスチックを含む原材料の調達、本製品の開発、マーケティング、販売及びLCA測定^(※3)等。

全世界の顧客ネットワークや販売・調達ネットワーク、既存事業の強みを活用し、脱炭素社会・循環型社会に貢献する環境ビジネスの創出により、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

■サンエー化研

本製品の開発及び製造。フィルム・シート加工に用いられるラミネート・コーティング等の設備及び技術を保有しており、医薬品・食品・その他の包装資材等において最新の技術で社会の利便性向上に貢献していきます。

※1 LCA測定^(※3)に基づき算定した数値であり、Gradeにより削減量は異なります。
詳細は当社へお問い合わせ願います。

※2 双日プラネット株式会社調べ。

※3 ライフサイクルアセスメントの略であり、ISO14040にて規格化されている環境負荷を定量的に評価する手法です。

【本件に関する問い合わせ】

双日プラネット株式会社 高機能パッケージング BU 第2課 06-6455-4660
製品ホームページ：<https://www.sojitz-planet.com/products/medicine>